

「道の駅」の防災機能強化について

近年の自然災害と「道の駅」の防災機能が活用された事例

災害	災害時に活用された道の駅	防災機能の例
平成16年 新潟県中越地震	クロス10十日町 (新潟県十日町市)	<ul style="list-style-type: none"> 一時避難所、炊き出し等 支援物資の集配基地、災害復旧車両の中継基地
平成23年 東日本大震災	遠野風の丘 (岩手県遠野市)	<ul style="list-style-type: none"> 避難所、支援物資の後方支援拠点 自衛隊、警察、消防、医療関係団体、ボランティア等の集結地
平成28年 熊本地震	あそ望の郷くぎの (熊本県南阿蘇村) 阿蘇 (熊本県阿蘇市)	<ul style="list-style-type: none"> 一時避難所、炊き出し等 自衛隊の被災地救援の前線基地 災害派遣車両の基地、通信会社の移動基地局
令和2年7月豪雨	飛騨街道なぎさ (岐阜県高山市)	<ul style="list-style-type: none"> 道路復旧活動の資機材保管場所
平成25年3月豪雪	メルヘンの丘めまんべつ (北海道大空町)	<ul style="list-style-type: none"> 除雪車等の拠点基地、立ち往生車両の待避所

中越地震における「道の駅」の活用事例

■道の駅「クロス10十日町」（新潟県十日町市）

- 道路利用者や近隣住民の一次的な避難場所として活用。道路情報、避難所情報等の提供、食料の炊き出し・配布、温泉施設の無料開放等を実施。
- 駐車場は、支援物資の集配基地、災害復旧車両の中継地として機能。

【道路区域外】



道の駅の駐車場に建設された仮設住宅
(道の駅「クロス10十日町」)



給水基地を設置
(道の駅「クロス10十日町」)

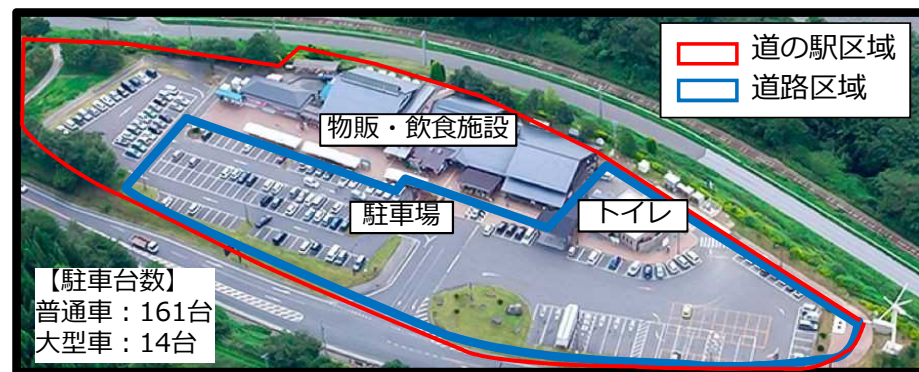
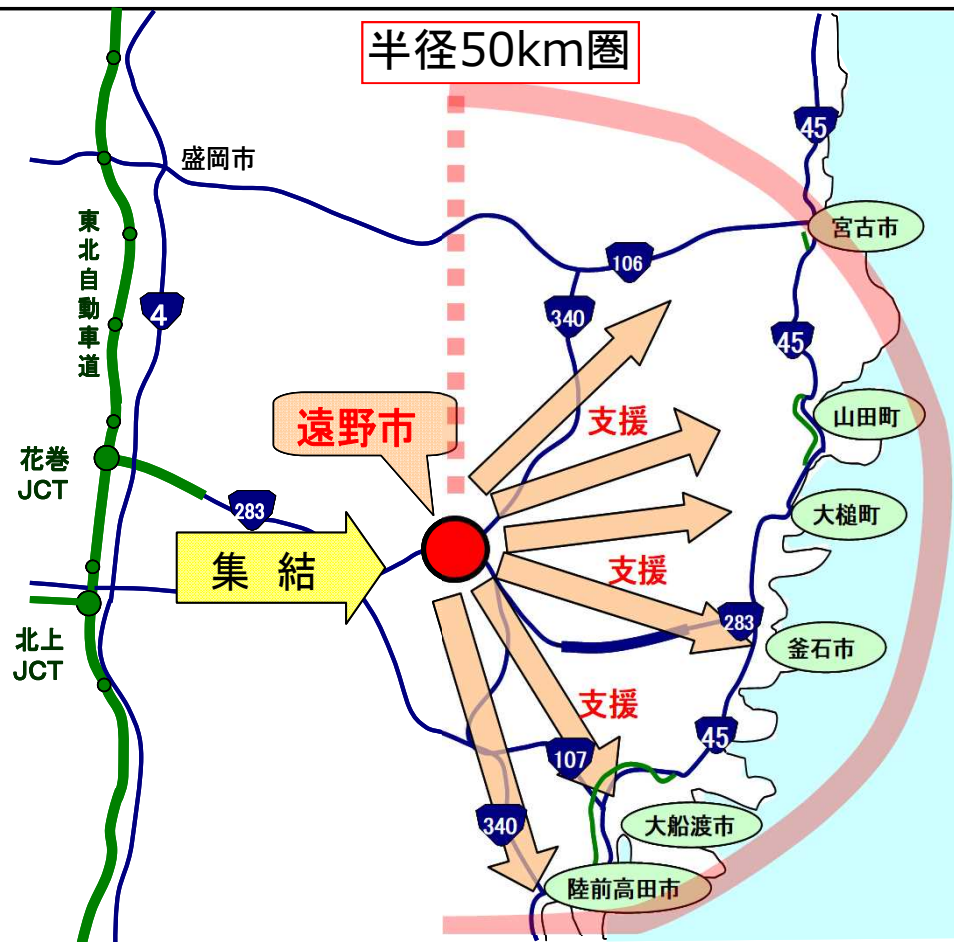


道の駅区域

東日本大震災における「道の駅」の活用事例

■道の駅「遠野風の丘」(岩手県遠野市)

- 沿岸各市町への後方支援拠点(『扇の要』)として活用。全国の自治体等から集められた支援物資の沿岸被災地への搬送等を実施。
 - 駐車場は、避難場所、自衛隊、警察、消防、医療関係団体、ボランティア等の集結地として機能。
- 【道路区域内及び道路区域外】



道の駅全景



復旧や救援に向かう自衛隊・消防隊やボランティアの後方支援拠点として機能

熊本地震における「道の駅」の活用事例①

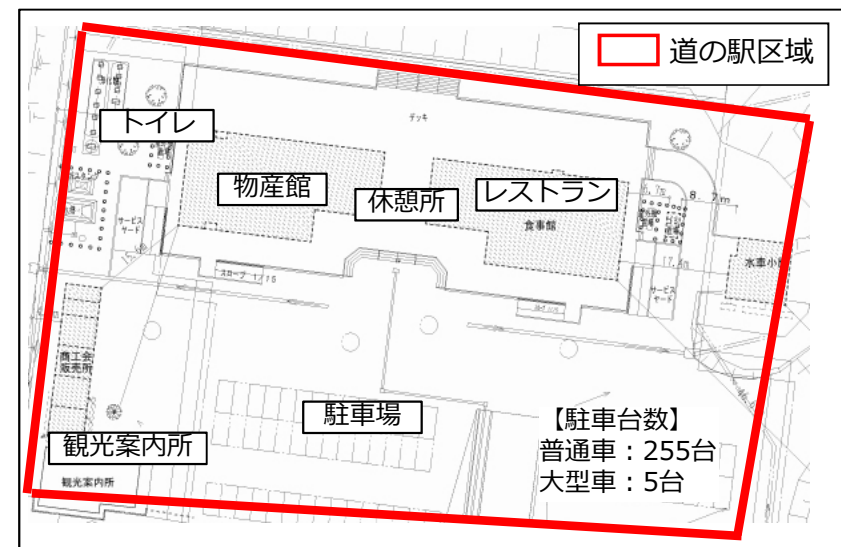
■道の駅「あそ望の郷くぎの」(熊本県南阿蘇村)

- 道路利用者や近隣住民の一時避難場所として活用。隣接店舗による避難者へのテントや寝袋等の貸出、自衛隊による炊き出し、食料配布等を実施。
- 駐車場は、避難場所、自衛隊の被災地救援の前線基地として機能。【道路区域外】



地震により南阿蘇村の道路が通行止めとなり、熊本市内から物資搬入ができないため、道の駅「あそ望の郷くぎの」においては、自衛隊が炊き出し、避難所への食料配布を実施

ヘリコプターの離発着場としても活用



熊本地震における「道の駅」の活用事例②

■道の駅「阿蘇」（熊本県阿蘇市）

- 災害派遣車両の基地や通信会社の移動基地局として活用。SNS等で被災箇所の情報提供を実施。
- 駐車場は、災害復旧車両の基地として機能。

【道路区域内】



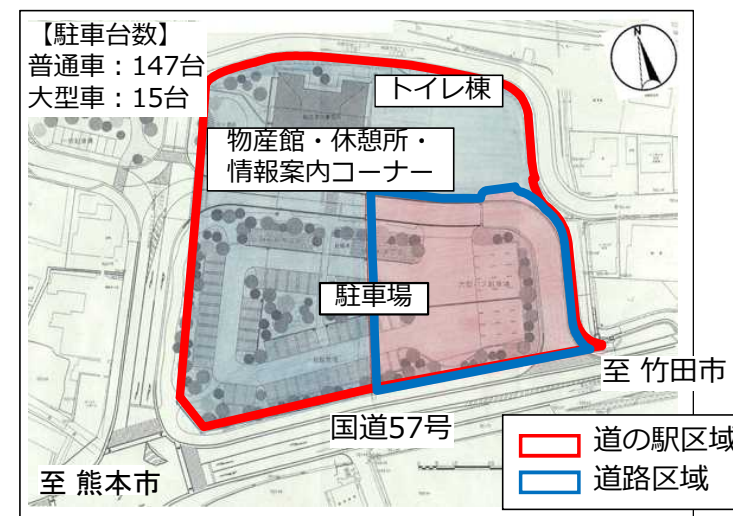
他の消防からの派遣車両の基地として使用



携帯キャリア会社の移動基地局として使用



仮設トイレを設置



令和2年7月豪雨における「道の駅」の活用事例

■道の駅「飛騨街道なぎさ」(岐阜県高山市)

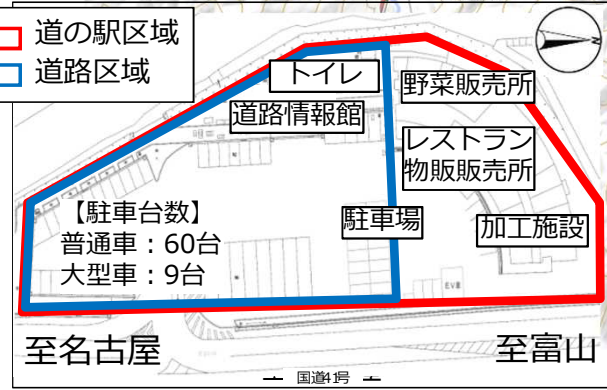
- 崩壊現場付近でのヤードが確保できるまでの2日間、道の駅を活用。
- 駐車場は、道路復旧活動の資機材保管場所として機能。 【道路区域内】



■被害概要、復旧工事経緯

- 令和2年7月豪雨により、7月8日に下呂市門坂地区の国道41号が約500mにわたって崩壊
- 飛騨川の水位を確認しながら7月10日に現地復旧工事を開始し、道路崩壊現場付近でヤード(借地)が確保できるまでの約2日間、道の駅「飛騨街道なぎさ」を資機材の保管場所として使用

7/8	7/9	7/10	7/11	7/12	7/13	7/14
災害発生		工事着手		復旧工事		
● 降雨・水位等確認		●		← 道の駅等を活用して資材搬入(2日間) →		
			← 現場付近でヤード(借地)確保 →			

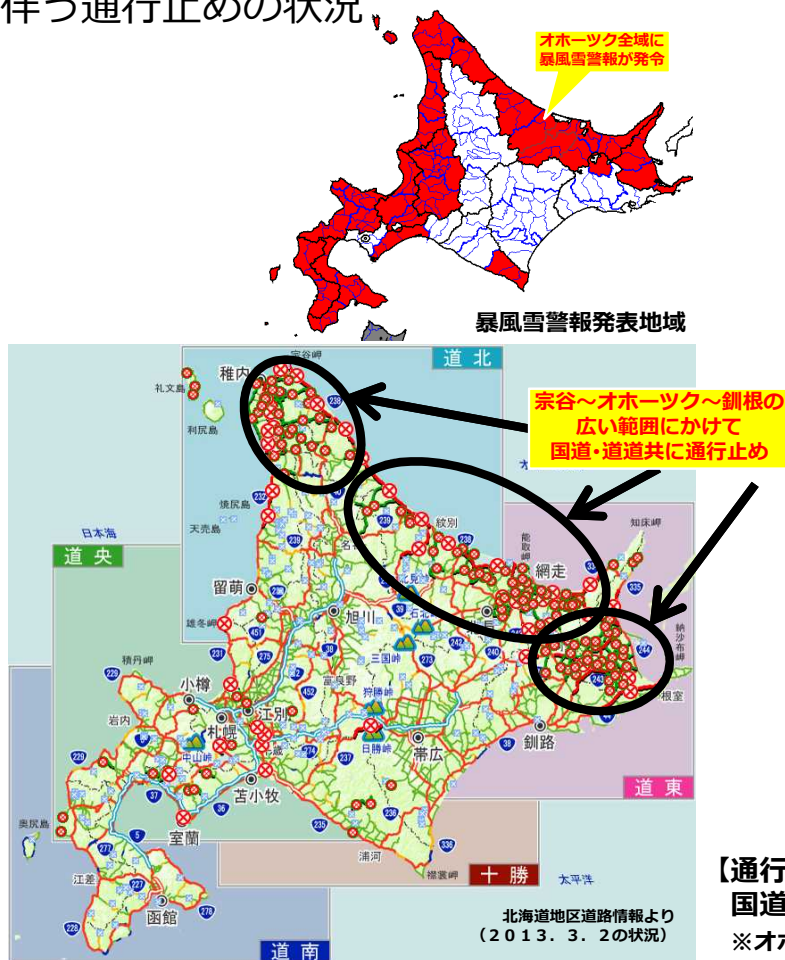


豪雪時における「道の駅」の活用事例

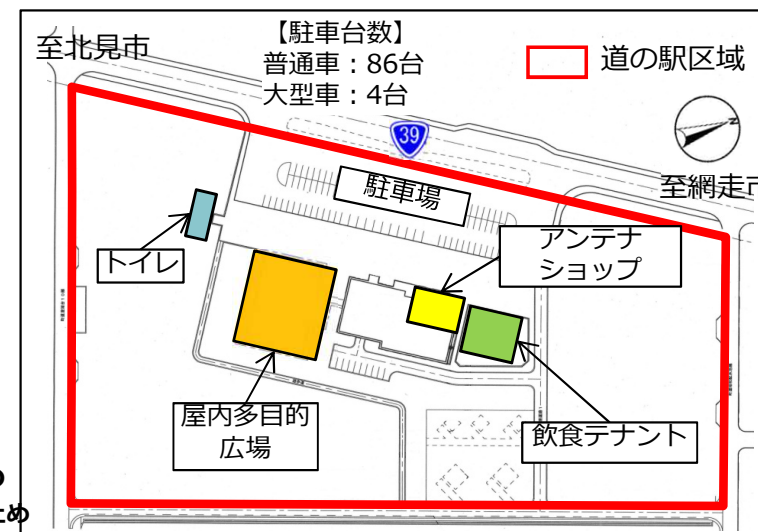
道の駅「メルヘンの丘めまんべつ」（北海道大空町）

- オホーツク地域における吹雪災害により、広範囲にわたって道路の通行止めが発生した際、一時避難場所として施設を開放。食料の配布を実施。
- 駐車場は、除雪車等の拠点基地や道路上の立ち往生車両の待避所として活用。【道路区域外】

H25年3月の吹雪災害及びそれに伴う通行止めの状況



道の駅「メルヘンの丘めまんべつ」の災害対応状況



【通行止め区間】
国道7路線、道道52路線が通行止め
※オホーツク管内の幹線道路の約5割が通行止め

防災基本計画(令和2年5月29日 中央防災会議決定)

- ・国〔国土交通省〕及び地方公共団体は、**防災機能を有する道の駅を地域の防災拠点として位置付け、その機能強化に努める**ものとする。
- ・国〔国土交通省〕、速道路事業者及び地方公共団体は、高速道路のサービスエリア、道の駅等を**警察機関、消防機関及び自衛隊の部隊の展開、宿営、物資搬送設備等の拠点**として使用させるなど、救助・救命活動への支援を行うものとする。

国土強靱化計画年次計画2020(令和2年6月18日 国土強靱化推進本部決定)

- ・自治体が策定する地域防災計画に基づき、自治体と役割分担を図りながら**「道の駅」の防災設備を整備**するとともに、広域的な復興・復旧活動拠点となる「道の駅」を重点的に支援する**「防災道の駅」認定制度を導入**する。

まち・ひと・しごと創生基本方針2020(令和2年7月17日 閣議決定)

- ・「道の駅」第3ステージとして、子育て応援施設や外国人観光案内所などの福祉、観光等に関する機能や**広域的な復旧・復興活動の拠点としての防災機能を強化**することにより、地方創生を推進する。

国土交通省における道の駅の防災機能強化の例

耐震化・無停電対策

地域防災計画に位置づけられた道の駅におけるトイレ、情報提供施設の**耐震化、無停電化対策**を実施
 <防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策>

<耐震化>
 (斜材による補強)



<無停電化>
 (蓄電池システム)

(非常用発電機)



(移動用発電機)



貯水タンク、防災倉庫、防災トイレ等

地域防災計画に位置づけられた道の駅における**貯水タンク、防災倉庫、防災トイレ等**の整備
 <令和元年度補正予算>

《貯水タンク》



《防災倉庫》



《防災トイレ》



BCPガイドライン(案)の作成

地域防災計画に位置づけられた道の駅における**BCP(業務継続計画)策定**を促進するため、**ガイドライン(案)**を作成

「防災道の駅」の認定

2020年度中に、災害時に**広域的な復旧・災害復興活動の拠点**となる道の駅を「防災道の駅」として認定

その他の取組(小型発電機の寄贈)

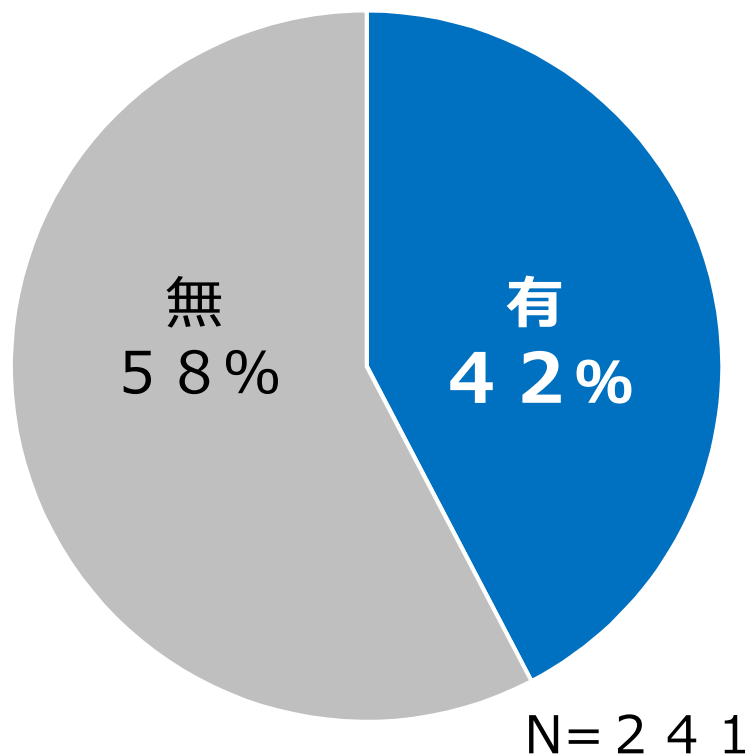
- 地域防災計画に位置づけられた道の駅等に対して、(一社)日本道路建設業協会は、(一社)全国道の駅連絡会と連携し小型発電機等を寄贈。
 - 今年度は全国67駅。今後も3年間で約200駅に対して寄贈予定。
- ※ (一社)日本道路建設業協会ではこれまでも、社会貢献活動として全国の道の駅に対して、小型発電機を累計188台、AED(自動体外式除細動器)累計143台などを寄贈



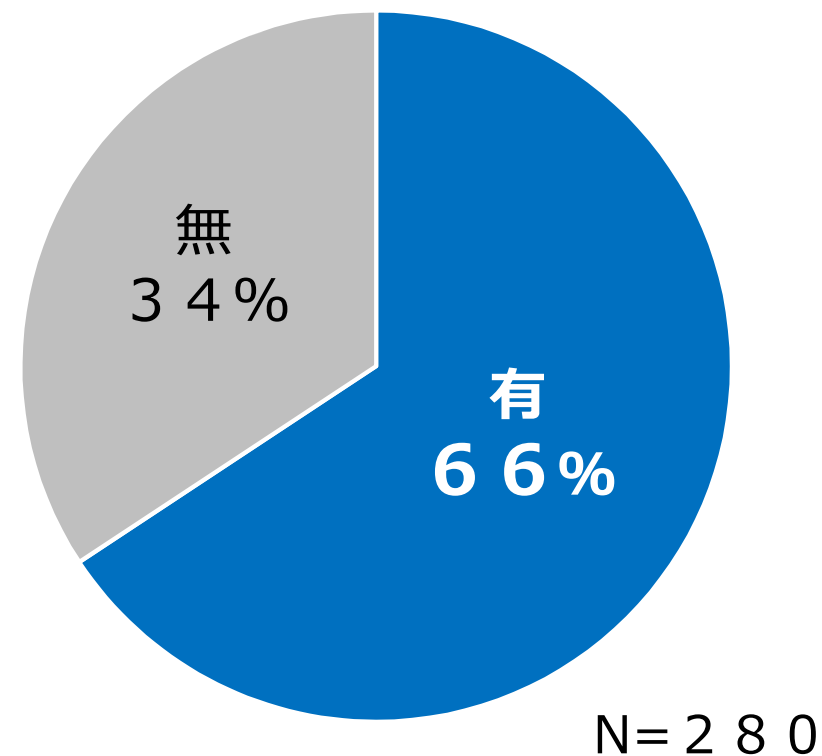
2020年10月12日 (一社)日本道路建設業協会から南房総市の道の駅「とみうら」に寄贈

地域防災計画への位置づけ状況<直轄道の駅>

平成25年



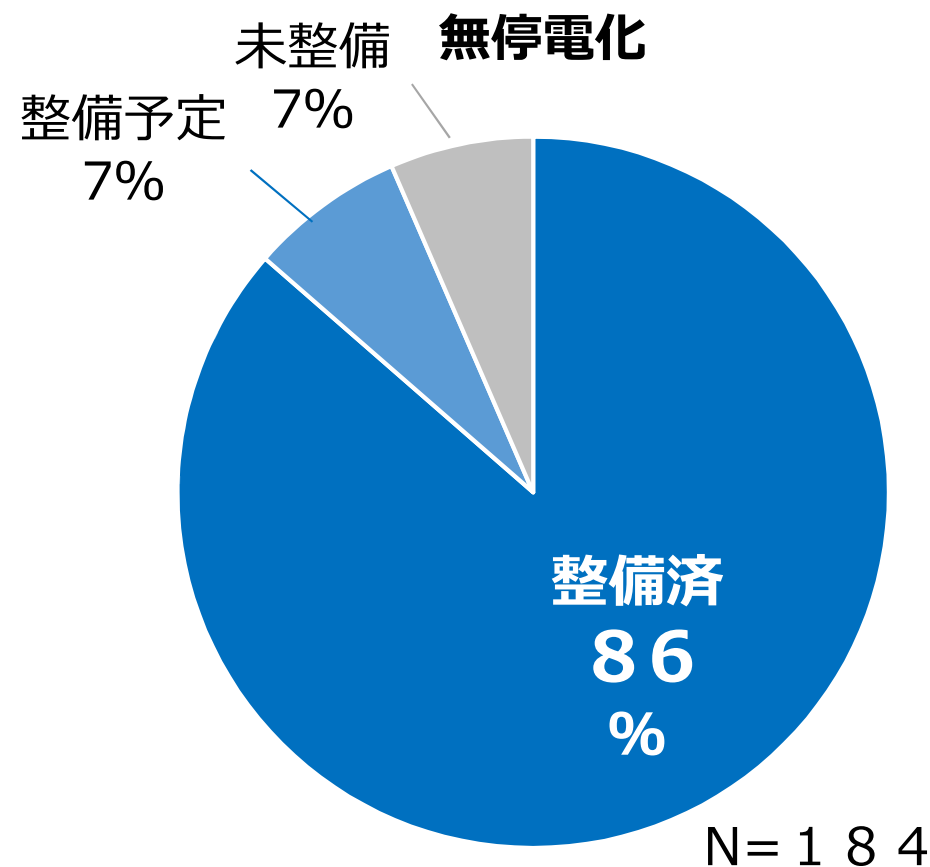
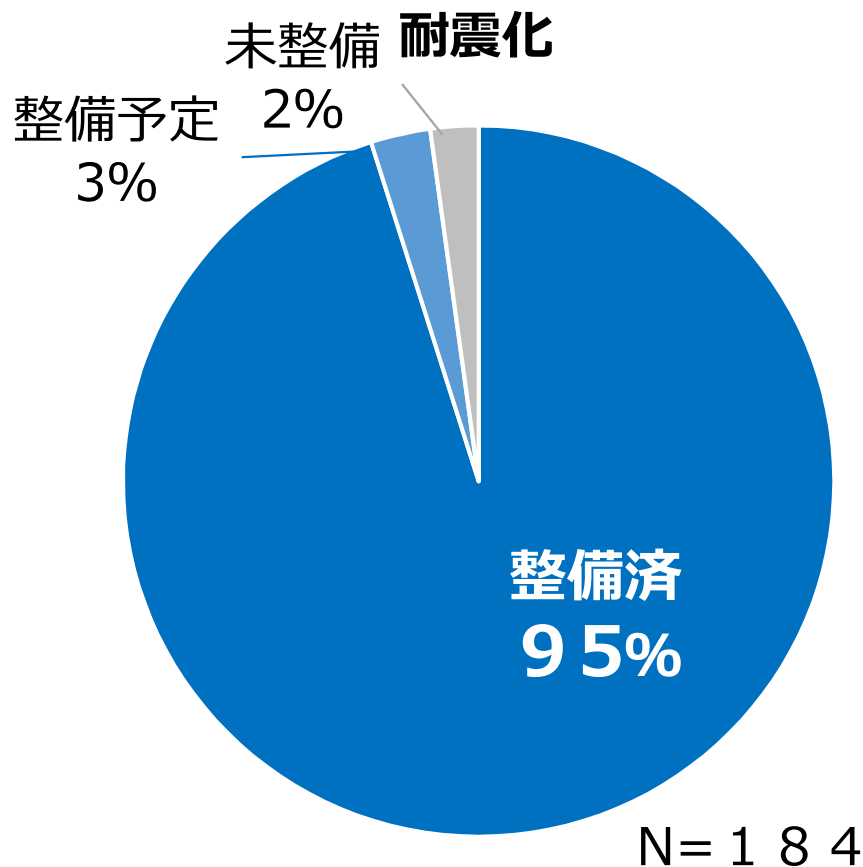
令和2年



6年間で地域防災計画に位置づけられた道の駅の割合は**24%**増加

防災設備の整備状況(耐震化・無停電化) <直轄道の駅>

<防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策>



- 耐震化、無停電化ともに、**約9割**の「道の駅」で整備完了
- 3か年緊急対策後、新たに地域防災計画に位置づけられた「道の駅」についても、**順次整備**をしていく予定

<補正予算>

貯水タンク

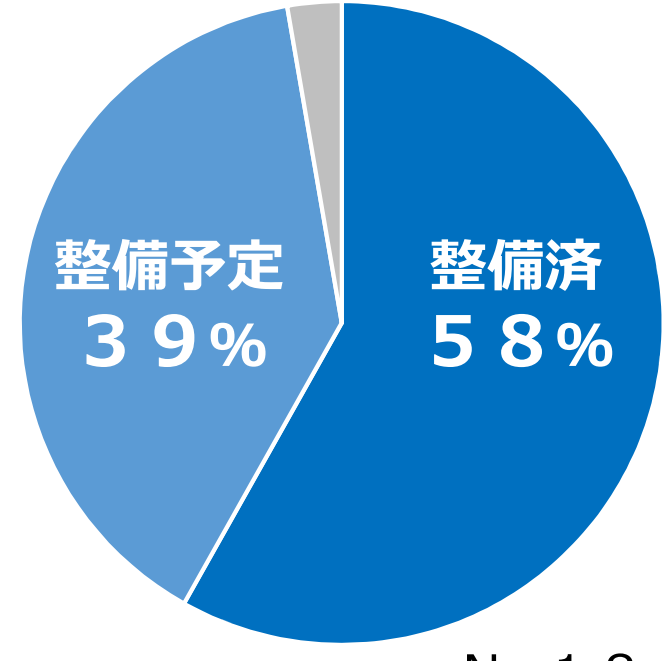
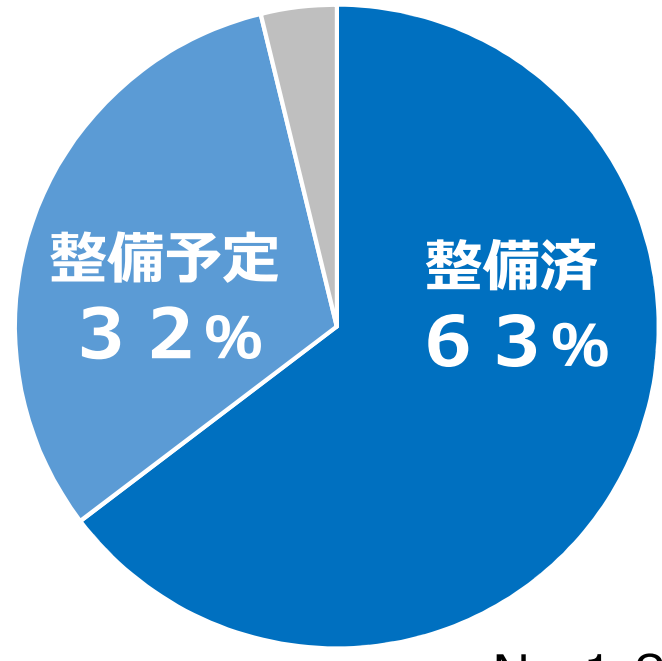
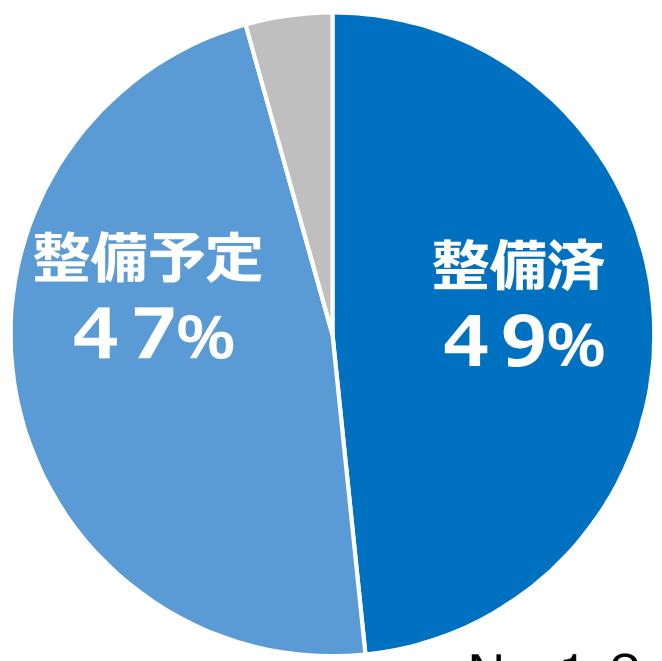
防災トイレ

防災倉庫

未整備 4%

未整備 6%

未整備 3%



N=184

N=184

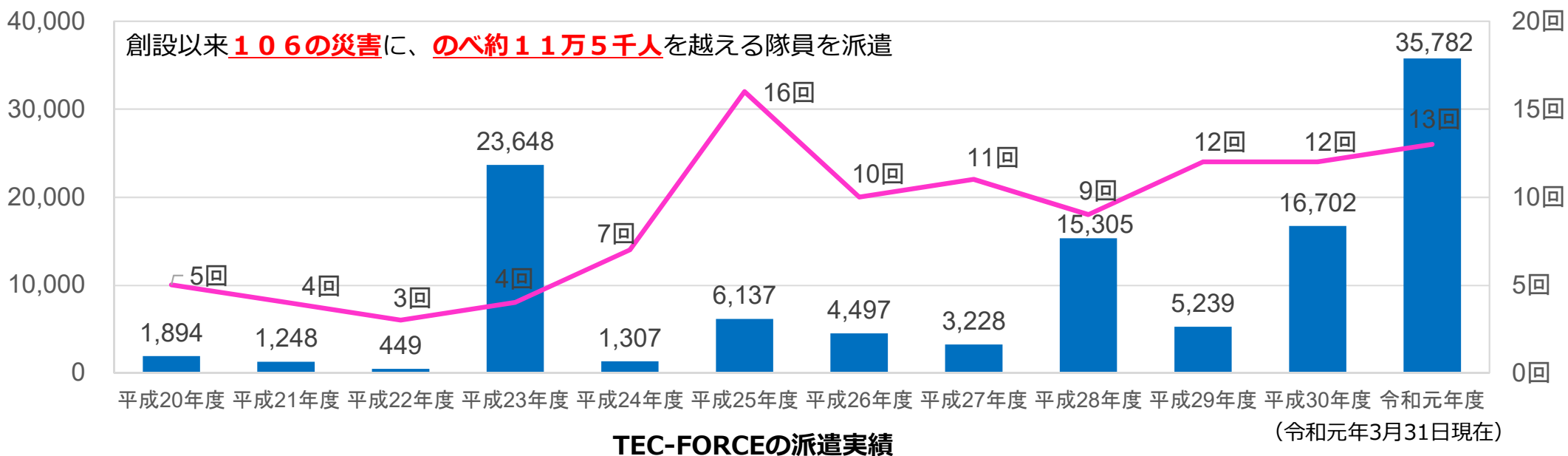
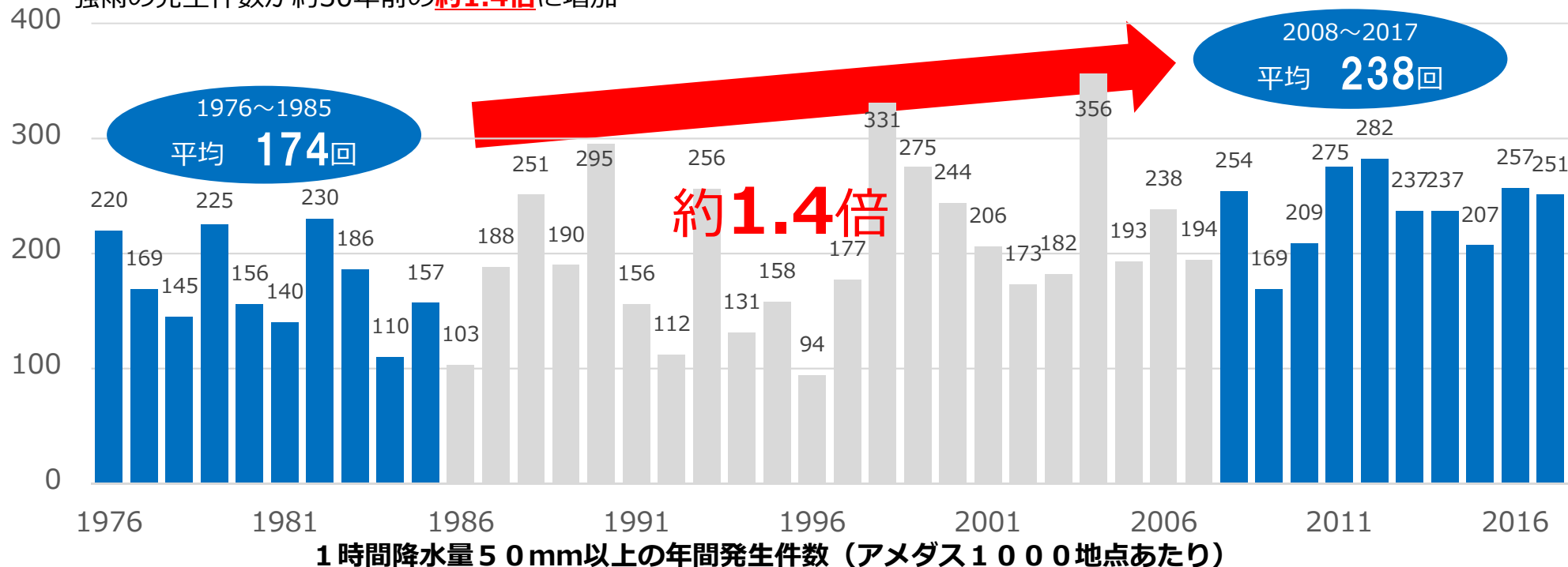
N=184

・貯水タンク、防災トイレ、防災倉庫については、**9割**の「道の駅」で整備完了予定

・昨年度、地域防災計画に位置づけられた「道の駅」についても、**順次整備**をしていく予定

災害の頻発化とTEC-FORCE等の派遣状況

強雨の発生件数が約30年前の**約1.4倍**に増加



災害時における道の駅駐車場の活用事例(一覧)

災害	道の駅	道路種別	整備形式	駐車場の区域		駐車場の役割		
				道路区域	道路区域外	避難場所	自衛隊等の拠点	道路の啓開 応急復旧等
中越地震	クロス10十日町	県道	単独型	—	○	×	○	×
東日本大震災	遠野風の丘	直轄国道	直轄一体型	○	○	○	○	×
熊本地震	あそ望の郷くぎの	主要地方道	単独型	—	○	○	○	×
	阿蘇	直轄国道	直轄一体型	○	×	×	○	×
令和2年7月豪雨	飛騨街道なぎさ	直轄国道	直轄一体型	○	×	×	×	○
豪雪時(H25年3月)	メルヘンの丘めまんべつ	直轄国道	単独型	—	○	×	×	○

⇒ 頻発化・激甚化する自然災害に備え、災害時における道路の啓開・応急復旧のため、道の駅の駐車場スペースを有効に活用する方策について検討。